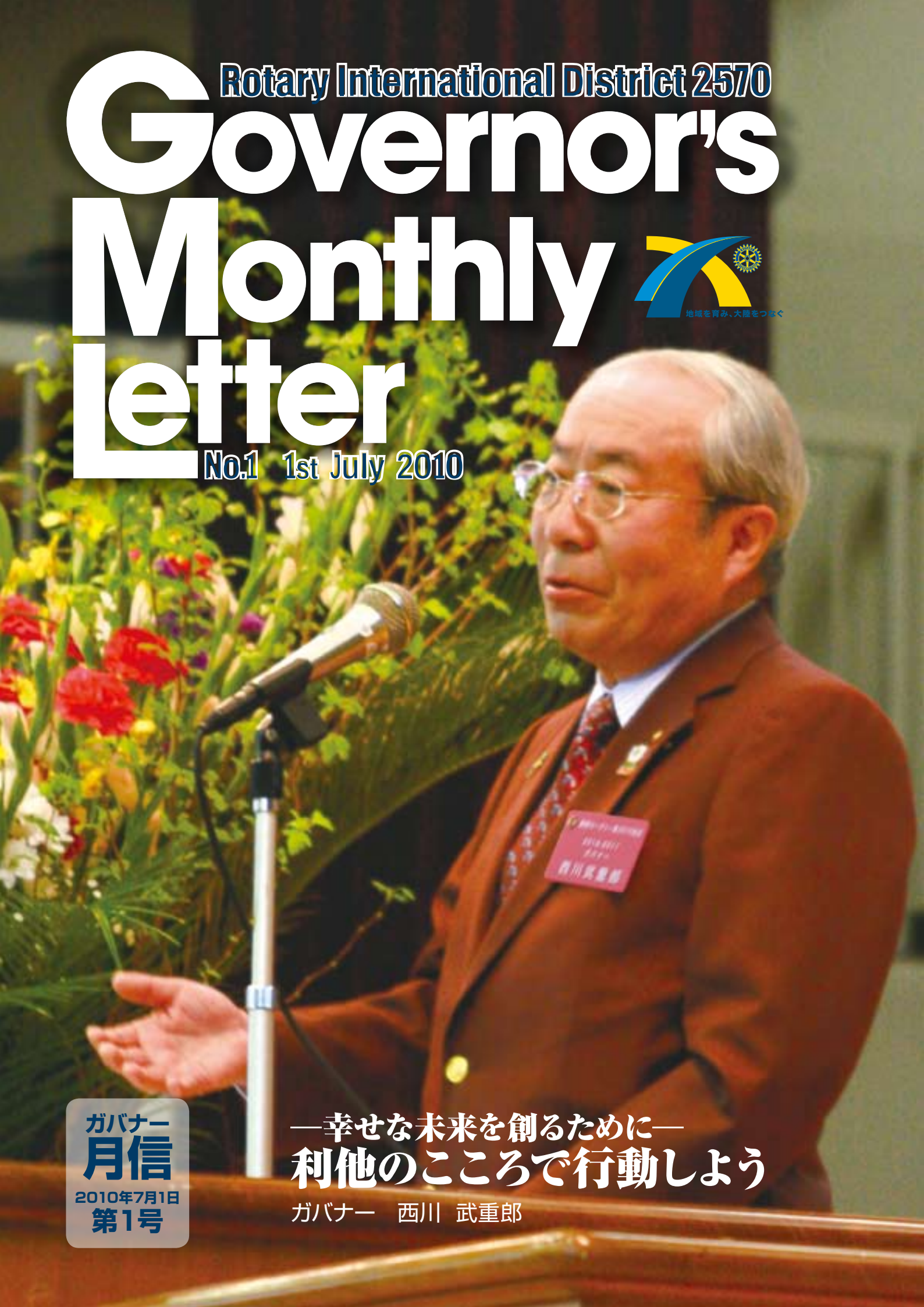
Rotary International District 2570

Governor's Monthly Letter

地域を育み、大陸をつなぐ

No.1 1st July 2010



ガバナー月信
2010年7月1日
第1号

—幸せな未来を創るために—
利他のこころで行動しよう

ガバナー　西川 武重郎

ロータリーとは何か。ロータリー・クラブとは何をする団体なのか。ロータリアンは、会員候補者やロータリーに関心を持っている人々からこういった質問をよく受けますが、簡潔に数分で、しかも効果的に答えるのは難しいものです。

ロータリーの第一標語である「超我の奉仕」は私たちの利他的な性質をとらえてはいますが、先の２つの質問に答えてくれるものではありません。そこで私は、「ロータリアン以外の人々にロータリーの目的を説明すること」と「ロータリアンにロータリーの原則の重要性を再確認してもらうこと」、この２つの目標を満たす簡潔なテーマを探す決心をいたしました。

そして適切な言葉を探す上で、四大奉仕部門を再検討していたところ、クラブ奉仕と職業奉仕はどちらも人生を謳歌し、善き市民となるよう私たちを導いてくれるものであると気づいたのです。また、社会奉仕と職業奉仕を合わせるなら、地元の地域社会をより住みやすく、働きやすい場所にすることができるでしょう。一方、国際奉仕は、国や大陸を異にする海外のクラブと協力し、世界理解、親善、平和を広め、世界をより良い場所にするための機会を、私たちに与えるものです。

ロータリーが、ロータリー・クラブの連合体であると同時に、奉仕の精神から成り立っていることを忘れてはなりません。私たちは、「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」というロータリーの中核となる価値観を分かち合う必要があるのです。ロータリーの中核となる価値観を分かち合う必要があるのです。ロータリーの真髄を表す多くの語句を検討した結果、ロータリーの現在の使命を表し、私たちの業績を強調するために、私たちが得意とすること、すなわち、次のテーマを最終的に選びました。

「地域を育み、大陸をつなぐ」

この簡潔な語句が、ロータリアンとしての私たちの存在と私たちの活動を的確に言い表すものであると賛同していただけることを願っております。ロータリーは世界でも比類のない優れた組織です。私たちは、地元地域社会の精神とリソースを育んでいます。また、住みやすく働きやすい世界をつくるために、世界中の人々の善意をつないで協力と支援を得ることにかけては、世界でも私たちの右にでる団体はないでしょう。エド・カドマン元会長の言葉どおり、「ロータリーは、画一化ではなく、結束である」のです。ロータリアンである私たちは、誠に恵まれています。

地域を育み、大陸をつなぐ

2010－11年度会長賞を検討するにあたっても、私はこれと同じ哲学を用いました。私は四大奉仕の各部門が等しく重要であるという考えに基づき、クラブが四大部門のすべてにおける成果を確認することができるよう、質問形式による新しい表彰プログラムを設けました。さらに、この表彰とは別に、年次会長賞を何度も受賞し続けているクラブのチャレンジ精神に応えるためにさらに上のレベルの特別賞も加えることにいたしました。

私たちが親睦と奉仕のレベルアップを図り、1910年に初のロータリー大会を開催した国際ロータリーを奉仕の第二世紀に向けて前進させていく中で、この質問形式を用いた新しい用紙がクラブと地区ガバナーの皆さまに役立つものとなることを願っております。

レイ・クリンギンスミス
2010－11年度国際ロータリー会長

Ray Klinginsmith

2010－2011年度RI会長強調事項については、次号にてご紹介致します。

—幸せな未来を創るために—
『利他の心で行動しよう』

2010−11年度国際ロータリー第2570地区
ガバナー　**西川　武重郎**

人間は二十世紀の百年間、豊かさと便利さを求めて努力してきました。確かに物の豊かさと便利さは手に入れることができました。しかしそれを手に入れるために、私達は自然を破壊してきました。

今はまさに大きな変革の時代だと思います。いかに自然と共生する社会を創ることができるかを私達は問われています。豊かさと便利さを求める過程で、物の豊かさのみを追求し、一番大切な心の豊かさを求めることを忘れてしまった、そのような私たちの生き方を改める時が来たのではないでしょうか。人と人との絆の薄い殺伐とした社会ができてしまったのは、心の豊かさを求める努力を怠った結果ではないでしょうか。このような時代の中でRI会長レイ・クリンギンスミス氏は、私達に「地域を育み、大陸をつなぐ」というテーマを示されました。

そしてロータリーの使命は地域社会を動かすことだ、そのために共通の目的に向って結束し、奉仕活動に時間と才能を捧げ、労力を捧げる覚悟が必要だ。世界の子供たちの育成のために、そしてポリオ撲滅のために、世界をより良いものにするために、ロータリー以外のより大きな力はあるだろうか？　我々はロータリーの責務を高める覚悟がある、奉仕活動と才能と労力を捧げる覚悟が我々にあるならば、世界は必ず変えられる、「Yes, we can」だと私達に語りかけられました。

その語りかけを受け、私達は何を成すべきかを考えてみようと思うのです。

私達はすでに、クラブごとに地域社会に奉仕をする活動を行っています。そのことはもちろん大切なことですが、RI会長レイ・クリンギンスミス氏が私達に求めていることは、それだけではなく、私達ロータリアン一人一人が何を成すべきか改めて考えることのように思えるのです。

そこで私は、ポールハリスの心をしっかり勉強し、原点に帰って「ロータリーの心」とは何かを自分自身に問い直してみようと思います。

右ページ写真下：2010年1月、国際協議会にて、2010−11年度国際ロータリー会長、レイ・クリンギンスミス氏ご夫妻と

地区バッジデザインの由来

西川ガバナー所属の志木ロータリークラブは、舟運で栄えた志木市にあります。1638（寛永15）年川越東照宮の焼失による再建資材を江戸から運んだことが新河岸川舟運の始まりであり、本格的な舟運は松平伊豆守信綱が川越藩主になった1939年以降と言われています。

船着き場は現在の志木市役所から見下ろす“いろは橋”周辺にあり、物流のみならず文化・芸術などの中継基地となって、東上線の開通ごろまで、繁栄してきました。地区バッジは、志木の繁栄をも“運んできてくれた”舟に感謝して、デザインされました。

「ロータリーの心」の原点へ

ポールハリスが日本に来た時に「あなたは何故ロータリーを始めたのですか」と質問され、「寂しかったから」と答えたという有名な話があります。また、ポールハリスの回顧録「マイロードトウ ロータリー」の中に、「ロータリーがより寛容で、より他の人の良さを認め、より他の人と親しく交わり助け合うようにしてくれるなら、そして人生の美しさと歓びを発散し伝えようとしてくれるなら、それが我々が求めるロータリーの全てである」と書かれています。

今ロータリーの会員が減少しつつあります。その原因のひとつに人間関係のもつれがありますが、このポールハリスの心をしっかりと掴んでいれば人間関係のトラブルなど起こらないと思うと残念でなりません。

現代社会は人の心の豊かさを見失い、人と人との絆の薄い殺伐とした社会になっています。このような社会であるからこそ、自己中心的な考え方とは対極にある、人のために役立ちたい、そのために奉仕するのだという「ロータリーの心」が大切になってくるのではないでしょうか。

誰もが幸せになりたいと思っています。しかし自分さえよければという利己的な考え方で本当の幸せは掴めるでしょうか。絶対につかめないと思います。人としての本当の豊かさ、本当の幸せを掴むためには「ロータリーの心」である、人のために役立ちたいと思う「利他の心」で生きることだと私は信じたいのです。

そこで私の年度のテーマを幸せな未来を創るために「利他の心で行動しよう」と決めさせていただきました。

■ 新ガバナーへ

直前ガバナー　**加藤　玄静**

新時代に相応しいリーダー誕生

一年間のガバナー任期が終わろうとしている現在、自問自答することが多く、本音で言わせていただけば、時代にあった改革をするのは非常に大変です。

ロータリーを取り巻く経済状況や、社会情勢があまりにも厳しく、奉仕活動以前にクラブ運営そのものを考えなくてはなりません。ガバナー補佐、部門委員長の協力を得てクラブ支援を「研修の面」、「経費の面」と二つに分けて行ってまいりましたが、効果の程は……。

地区組織のあり方、面白くてためになる例会企画、地域社会に貢献できる奉仕活動、将来を担う新世代のプログラム、ロータリーが提唱したロータリー財団、ロータリー米山奨学会の目的達成への努力等、取り組むべき事が多く、地区は勿論のことクラブ会長・幹事も到底数年では解決することが出来ないと思います。

新たに規定審議会出席の小池英輔パストガバナーの報告の通り、大事な決定がされております。西川武重郎年度に更に新しい宿題が追加されましたが、新ガバナーに対する期待は大きいものがあり、是非乗り越えて頂くことをお祈りします。

■ 直前ガバナーへ

ガバナー　**西川　武重郎**

箸良く盤水を廻す

私はこの一年間、加藤ガバナーの背中を見て歩んでまいりました。偉大な父親を持った子供は、親を超えることが出来るかというプレッシャーに悩まされるものですが、そんな心境でいた４月の地区大会の折、曹洞宗長徳寺住職酒井大岳氏から「箸良く盤水を廻す」という話を聞きました。水を張った盤に箸を入れ、回していると、いつか盤全体の水が廻り出す。だからどんな小さな力でも続けることが大切だと話されました。

私はその話を聞き、プレッシャーが軽くなるとともに、そうだ、2570地区という盤水に、私のテーマである「利他の心で行動しよう」という箸を入れ、小さな渦を作ろう。そうすれば皆様のお力をいただき大きな渦となり、殺伐とした現代社会を洗い清め、世界をより良い方向に変えていこうというRI会長レイ・クリンギンスミス氏の希いが叶えられ、「地域を育み、大陸をつなぐ」大きな力になるだろうと思うようになりました。このような思いになったのは、加藤ガバナーのご指導があったればこそであります。

本当にありがとうございました。

■ ガバナーエレクト・メッセージ

ガンバレ！ 我らの西川ガバナー

ガバナーエレクト　**立原　雅夫**（川越）

国際ロータリー第2570地区・西川ガバナーが、―幸せな未来を創るために―『利他の心で行動しよう』とスタート。心より声援をおくるとともに、我々のリーダーとして大活躍をされることを確信しております。

最近の経済情勢、社会情勢は各地域にとってさまざまな厳しい状況を導き、多様な変化とその対応をせまられております。その影響は各ロータリークラブのさまざまな活動にも波及していることと思います。成熟したかに思われたロータリー活動にも新たな課題とそれらの対応を迫られていると思います。

しかし、西川ガバナーの力強いリーダーシップと温厚なお人柄がすべてを解決してくれることと思います。また志木RCを中心とするサポート体制も、力強い推進力になることでしょう。

私もエレクトとして支援するとともに研鑽に励みます。どうぞ、ご指導のほどをお願いいたします。

―幸せな未来を創るために―、ご期待申し上げます。

■ 研修リーダー・メッセージ

期待の人事により地区の新たな出発

研修リーダー　**真下　和男**（東松山）

私はガバナーとして志木RCを公式訪問し、クラブの充実と会長のクラブ運営の見事さに感銘を受けました。ガバナーノミニーをこのクラブから是非誕生して欲しいとの思いを持ちました。期待通り西川ガバナー誕生となりました。地区幹事は当時の会長の大野栄治氏が就任することになりました。期待の人事です。

本庄RCから選出された加藤ガバナーは地区予算が逼迫する中で真下地区幹事のもと、クラブ会員の積極的な協力で事務局もゼロからのスタートで見事に地区行事や地区大会を達成されました。大変な手探り状況であったことでしょう。反面前例にとらわれない新たな取組みも可能となったかもしれません。

今度の事務局西村さん、木村さんは私のガバナー時の事務局員であり、熱心な仕事ぶりをよく承知していますので、研修資料作成等に強力な支援を頂戴できると思います。

相互扶助の精神を養いながら各クラブの活性化を

第1グループガバナー補佐　**金子　圭典**（鶴ヶ島）

西川ガバナーより任命されて6ヵ月が経過、その間補佐の任務について学ぶ事となりました。一般的には代理とは違い、補佐はガバナーが運営しやすいように露払いをして先導して道を開く事に尽きると考えられます。

日本の政治経済が不安定な現状での各RCの運営は、今後とも厳しい傾向にあります。企業の脆弱化により若いリーダーが育成されず、この事がRCの増強にも影響しています。RCの社会的な評価は今一歩の所。各クラブが更に活性化し、地域住民や行政と相互扶助の精神を養いながら研鑽に努め、RI会長の「地域を育み、大陸をつなぐ」目標が叶うよう頑張りたいものです。

社会奉仕活動を利他の心で

第2グループガバナー補佐　**岡野　元昭**（新座）

RI会長レイ・クリンギンスミス氏は、RIのテーマとして「地域を育み、大陸をつなぐ」と簡潔なメッセージを発せられました。第2570地区ガバナー西川武重郎氏は、本当の幸せを掴むためにはロータリーの心である人の為に役立ちたいと思う「利他の心で生きる」を地区テーマとしておられます。各クラブが地域にマッチングした社会奉仕活動を利他の心で行う事が大事です。

川の水も上流より若い清らかな水が流れ込むことで清らかさを保つことができます。組織は新しい会員を増強することが、エネルギーとなり大きな和となります。地区とクラブの架け橋として西川ガバナーのもとで一生懸命頑張りますので皆様の御指導御協力を宜しくお願い致します。

夢のある奉仕活動で地域を育もう！

第3グループガバナー補佐　**磯田　力彦**（新所沢）

厳しい経済環境が続く現在、ロータリー全体を覆う空気は晴れず視界不明瞭です。会員増強、会員維持も儘ならない中でクラブ運営、奉仕活動に実を挙げるためには如何にしたら良いのか、それが今年度考えていかなければならない事だと思います。

折りしも、ロータリー財団は100周年（2017年）を目指して今年度から「未来の夢計画」事業を立ち上げました。そこで第3グループ各会員の熱意によって夢のある奉仕活動を実践できれば「地域を育み……」、「利他の心で行動しよう」の今年度テーマに叶うのではないかと考えます。

そして地区とクラブの間の情報伝達を密にし、それぞれのクラブ活性化のためにお役に立ちたいと思います。

「利他の心で行動しよう」を目指して

第４グループガバナー補佐　**高柳　育行**（本庄）

第４グループのガバナー補佐をさせていただく高柳と申します。ロータリアンの皆様は、豊富な経験、知識、哲学や技術、更には恵まれた経済的基盤をお持ちであります。西川ガバナーは、クラブの活動で、地域社会で、更には国際社会で「利他の心で行動」されることを求められています。グループ内の会長・幹事様との信頼関係を築き、各クラブの現況や要望をガバナーへお伝えし、またガバナーや各部門の方針や思いを各クラブへ伝達することで、各クラブが効果的で円滑な活動ができますよう、微力ではありますが支援してまいりたいと思っております。「利他の心で行動」することを心がけ努める所存ですので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

与えられた事の感謝

第５グループガバナー補佐　**澤田　將信**（熊谷南）

第５グループのガバナー補佐澤田將信です。所属クラブは熊谷南ロータリークラブです。熊谷南RCはまだ創立14年目の若いクラブでガバナー補佐は私で二人目になります。私がロータリーに入会したのが1989年熊谷東RCで、熊谷南RC創立とともに移籍しました。

今年度ガバナー補佐として西川ガバナーを援助できる事は大変光栄であり感謝です。また第5グループの各クラブの皆さんには、西川年度の地区テーマ「幸せな未来を創るために―利他の心で行動しよう」を実践するために、ご理解とご協力をお願い致します。結に西川年度が素晴らしく飛躍する年度になりますよう、ご期待申し上げます。

2010-11年度
国際ロータリー
第2570地区
西川ガバナー年度

顧　問

飯野 行雄（川越小江戸）

髙山 孝（坂戸）

2009年10月30日、ガバナーエレクト事務所開設記念にて

諮問委員会

福島 良治（深谷）

今泉 清詞（川越）

田中 一郎（坂戸）

金子 千侍（秩父）

大舘 清次（朝霞）

寺山 栄一（深谷東）

梅沢 定彦（所沢）

髙橋 福八（本庄）

小池 英輔（行田）

野中 弘之（熊谷東）

鈴木 勲二（和光）

石川 嘉彦（入間）

真下 和男（東松山）

加藤 玄静（本庄）

地区支援グループコーディネーター

保健と飢餓
新井 弥男（所沢）

水
細井 保雄（行田さくら）

識字率向上
古屋 一生（熊谷西）

母子と健康
佐藤 信男（狭山）

■ ロータリーの友・ご挨拶

組織が一般社団法人化

地区委員
浅田　進（本庄南）

組織が一般社団法人となり地区代表委員と名称も変更されました。情報提供のご協力お願いします。

■ 部門委員長・ご挨拶

「地域を育み…」は、社会奉仕そのもの

社会奉仕部門
西澤　孝夫（越生毛呂）

ロータリーの使命の一つは地域社会を良くすることにあります。従来の社会奉仕プロジェクトをもう一度検証し、新たな事業も視野に入れて展開してまいります。

引き続き宜しくお願いします

新世代部門
野口　健吉（東松山むさし）

先に行われた規定審議会において新世代部門が五大奉仕となりました。加藤年度に引き続き西川年度も新世代を担当致しますので宜しくお願いします。

地区目標額3,500万円

米山奨学部門
大澤　衛（和光）

現況の奨学生を支援するための最低目標額です。一人あたりの金額は、厳しい状況ですがご理解を賜り是非とも、今年度もご協力の程をお願い致します。

■ 地区研修委員会・ご挨拶

ロータリー情報を出前研修で

委員長
栗山　昇（朝霞）

西川ガバナー年度の重点目標の一つである「出前研修」と「クラブ研修リーダーの設置」を最優先に考え、「研修はクラブから」を実現するために協力していきます。

職業奉仕はロータリーの金看板である

職業奉仕部門
橋本　正彦（朝霞）

今年度の活動は、グループ単位の勉強会及び標準職業分類表を作成します。高校生感動体験プログラムは、県との共同事業として今年度も実施します。

国際奉仕を心に秘めて

国際奉仕部門
茂木　正（本庄）

今年度、国際奉仕部門委員長を託され、新たな気持ちで取り組みます。国際奉仕を通じて自社や地域の発展に寄与できる、そうした活動を実践してまいります。

寄付のできる・喜び・誇り・自信！

ロータリー財団部門
小池　貞作（寄居）

本年度、部門委員長でお世話になります。R財団の使命を通じて、世界理解・親善・平和を達成するためには、皆様の継続的な善意のご寄付が不可欠です。

会員増強を強力に推進します

クラブ奉仕部門
井花　富男（新狭山）

地域社会の評価無くして会員増強はおぼつきません。会員増強と広報は両輪です。アグレッシブな山口、横塚両委員長、委員諸氏の布陣で推進していきます。

■ 財務委員会・ご挨拶

委員長
真下　恵司
（本庄）

予算規模が縮小されてきておりますので、今まで以上の効率的な地区運営をお願い致します。

■On To ニューオリンズ・ご挨拶

委員長
内田　栄信
（志木）

2011年5月のニューオーリンズ国際大会は、西川ガバナーと共に地区ナイトを用意して皆様をお待ち致します。

■ 委員会・ご挨拶

会員増強委員会
山口　茂
（熊谷南）

各クラブの会員増強、会員維持に支援協力が少しでも出来れば幸いです。地区増強目標は60名です。

広報・記録委員会
横塚　元幸
（東松山むさし）

2010～11年クラブ奉仕部門広報記録委員長を務めさせて頂く横塚元幸です、宜しくお願します。

職業奉仕委員会
中里　協弘
（東松山）

こんにちは。ロータリアンの綱領実践しグループごとの勉強会を開催、ありがとうございます。

高校生社会体験活動委員会
宮根　健治
（川越西）

失敗を恐れて能動的行動が不足する青少年に、座学も大事ですが社会との接点で学ぶ視点も必要です。

社会奉仕委員会
田中　八束
（狭山中央）

引き続き社会奉仕委員を拝命し、大変広義なテーマゆえ、ガバナーの指導の下、邁進あるのみ！

ブライダル委員会
醍醐　治江
（志木柳瀬川）

地区のロータリアンから推薦された方との出合い、理想の人にめぐり合えるパーティーを推進します。

世界遺産登録推進委員会
鈴木　秀憲
（吹上）

埼玉県名発祥「さきたま古墳群」の世界遺産登録を目指す事で県民の郷土意識を高める社会奉仕を！

■ 委員会・ご挨拶

日豪青年相互訪問委員会
金子　章
（本庄）

日豪青年相互訪問プログラムは35周年を迎えます。日豪の相互理解と交流が積極的、円滑に行えるように事業を推進致します。

世界社会奉仕委員会
新島　修一
（深谷ノース）

WCS委員会は、世界中の困っている人々を支援するのが目的です。「顔の見える支援」を大切にします。

アクト委員会
平岡　徳大
（所沢西）

次代を担う青少年の育成、教育並びに啓発を支援し、団体活動を中心にその精神を培う教育をします。

青少年交換委員会
中川　正明
（東松山）

本年度も青少年交換プログラムに携わります。地区のクラブ・会員のご協力をお願い申し上げます。

ライラ委員会
島田　敏郎
（富士見）

地域の青少年に、ロータリーの理想と価値観を紹介する役目を果たしていきたいと思います。

R財団推進・補助金委員会
柴崎　典一
（深谷）

就任2年目となりました。貴クラブとR財団の繋ぎ役として頑張ります。ご協力の程お願い致します。

R財団奨学学友委員会
松本　光司
（坂戸さつき）

ロータリアンのご寄付により、奨学生を派遣、Rの国際理解・親善、平和の推進に寄与致します。

GSE委員会
吉田　靖夫
（志木）

今年度はGSE実施の年です。ご協力下さいますようお願い致します。

米山奨学推進委員会
鍛冶田　宙一
（坂戸）

米山奨学事業の推進を合言葉に、昨年度と同様活動方針に則り実施してまいります。

米山奨学学友委員会
竹間　暎
（東松山）

東松山の竹間です。アジア諸国の留学生の皆様と一緒に国際親善・友好及び世界平和に努めます。

スタッフ一同、心をひとつに

幹事　**大野　栄治**（志木）

2010～11年度国際ロータリー、レイ・クリギンスミス会長が「地域を育み、大陸をつなぐ」とメッセージを出されました。2570地区西川武重郎ガバナーよりの「利他の心で行動しよう」との地区方針に基づいて2月に地区チーム研修セミナーそしてPETS、4月に地区協議会を無事に終了し、西川年度のガバナー事務所もスタート致しました。

ガバナー事務所を管理する地区幹事一同は、心をひとつにして2570地区の各種行事が円滑に実施できるように、スタッフ一同で努力致します。

各クラブに対する連絡はRI行事を含めてメール対応が多くなる予定です。メールチェックは早めにそして習慣化して下さいますようお願い致します。

なお、西川年度のガバナー月信はこの第1号を例外として、基本的に各クラブ会長・幹事宛2部とCD1枚（PDF）の配布予定ですので、CDを有効に活用して下さい。西川年度で各クラブが実り多い一年間になりますように地区幹事一同でがんばりますのでよろしくお願い申し上げます。

米山奨学部門担当副幹事
浅田　光二（志木）

職業奉仕部門担当副幹事
星野　博之（志木）

新世代部門担当副幹事
山村　昭康（志木）

国際奉仕部門担当副幹事
飯田　富夫（志木）

ロータリー財団部門担当副幹事
髙野　邦夫（志木）

月信編集担当副幹事
内山　純夫（志木）

クラブ奉仕部門担当副幹事
高橋健一郎（志木）

社会奉仕部門担当副幹事
市之瀬正靖（志木）

月信編集担当副幹事
國分　学（志木）

エレクト担当副幹事
小谷野和博（川越）

7・8月のスケジュール

7月		
1	木	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会 グランドプリンスホテル高輪
3	土	社会奉仕部門セミナー　東松山「紫雲閣」
10	土	年度始合同役員会議　志木「ベルセゾン」
18	日	インターアクト年次大会
20	火	公式訪問（川越RC）
22	木	公式訪問（入間RC）
24	土	クラブ奉仕部門セミナー　東松山「紫雲閣」
27	火	公式訪問（朝霞RC）
29	木	公式訪問（東松山RC・小川RC・東松山むさしRC）
30	金	公式訪問（熊谷RC）

8月		
1	日	国際奉仕部門セミナー　東松山「紫雲閣」
3	火	公式訪問（深谷RC・岡部RC・深谷ノースRC）
4	火	公式訪問（熊谷東RC）
5	木	公式訪問（坂戸RC・坂戸さつきRC）
9	月	公式訪問（熊谷西RC）
10	火	公式訪問（所沢RC）
14	土	米山奨学生秩父音頭祭り参加 皆野町（西武秩父駅集合）
15	日	
19	木	公式訪問（本庄RC）
23	月	公式訪問（川越中央RC）
24	火	公式訪問（所沢西RC）
25	水	公式訪問（飯能RC）
27	金	公式訪問（和光RC）
30	月	公式訪問（新狭山RC）
31	火	公式訪問（秩父RC）

編集部から

継承は創造である

西川ガバナー年度の月信を担当するにあたり３つのテーマに取り組みたいと考えました。まずひとつめは、先輩諸氏が脈々と築いてこられた月信の伝統を踏襲することです。ふたつめは、読みやすさを求めて文字だけではなく写真の多用を心掛けることです。そして最後に、2570地区がさらに連帯を深めることを目的として「鎌倉街道」を、歴史学的にではなく、むしろ地域の伝承民話のように掘り起こしてみたいと思っています。

諸先輩の月信編集に対するご尽力を大切に継承しながら、小さな思いをかたちにして、西川年度の一片を支えることができるよう微力を尽くす所存です。どうぞご愛読下さい。

月信編集担当副幹事　内山　純夫

（お願い）

西川ガバナーからのメッセージや大会の記録、各種セミナー報告などを毎月お届けする「月信」ですが、皆様それぞれのRCで開催されている活動やイベントなどの情報も積極的に取り入れ、皆さまに楽しみながら読んで頂けるような冊子にしていこうと企画しております。各RCの広報ご担当、会報ご担当の方は是非ご協力下さい。また、新しい「月信」について、忌憚のないご意見ご感想を是非お寄せ下さい。企画記事「鎌倉街道」についてご興味のある方、情報をお持ちの方は、ガバナー事務所、西村までご連絡下さいますよう、お願い申し上げます。

文庫通信（273号）【ロータリー文庫】

■ 開館　午前10時～午後5時
■ 休館　土・日・祝祭日

新世代のためのプログラム

◎「最近の若者の心の叫び」……杉田峰康……〔2010〕 7P
（第38回ロータリー研究会報告書）
◎「青少年交換・ローテックスおよびIACの現状と問題点」…関場慶博……〔2010〕 4p
（第38回ロータリー研究会報告書）
◎「日本のRACとRYLAを含めての青少年奉仕活動」……海沼美智子……〔2010〕 6P
（第38回ロータリー研究会報告書）
◎「青少年の健全な育成と指導に何が必要か」……梨田昌孝……〔2009〕 4P
（D.2660地区大会記録）
◎「ライラに参加して」（第8回ライラ研修報告書）……D.2840 〔2009〕 3P
◎「RYLAの皆さんに期待するロータリアンの気持ち」……深川純一……D.2670・D.2680 〔2009〕 5p
（第31回青少年指導者育成セミナー報告書）
◎「人生―いかによりよく生きるか」……阿部志郎……D.2670・D.2680 〔2009〕 12P
（第31回青少年指導者育成セミナー報告書）
◎「『少年少女ニコニコキャンプ』開催要領」……D.2660 〔2009〕 2p
（2008少年少女ニコニコキャンプ報告書）

〒105-0011　東京都港区芝公園2丁目6番15号　黒龍芝公園ビル３階
TEL：(03)3433－6456　FAX：(03)3459－7506　ホームページ：http://www.rotary-bunko.gr.jp

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

［申込先：ロータリー文庫（コピー /PDF）］

ガバナー事務所
木村奈津子、西村幸男

西川年度・第2570地区ガバナー事務所にて、クラブの運営や会の開催準備、月信発行のお手伝いなどをさせて頂いております。円滑な運営のために、いろいろお願いを申しあげたりすることもございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。何かお気づきの点がございましたら、ガバナー事務所までお気軽にご連絡下さい。

対応時間：月～金　午前10時～午後5時

鎌倉街道が繋ぐ2570地区の「和」

この2570地区には、鎌倉街道の数少ない名残が所々に点在しています。おりしも、『ロータリーの友4月号(2010年)』には、所沢RCの「鎌倉街道案内板設置」の活動記事もあり、街道の断片をご紹介しながらつなぎ合わせていくことが、2570地区の各クラブの連携を深めてていくきっかけとなることを願いつつ、西川年度の「月信」連載企画としました。

第1回 幻の道

今回はその第一回目として、2570地区を通る鎌倉街道を概観してみます。

政権が貴族から武士に変わった鎌倉時代は、コンピューターやネットの発達で従来の価値観や体系が短期間に激しく変化している現代にも似たような、未曾有の文化的変貌を遂げた時代でした。当時は街道を整備することが、貨幣経済や商品流通などのネットワークを充実させる有効な手段だったのでしょう。村を通り、山間を抜け、鎌倉に至る街道を、武士や商人たちが自由に行き来し、また日本の仏教に大きな影響を与えた上人たちも、各地にその痕跡を残しています。

この2570地区を通る鎌倉街道には「上道」、「羽根倉道」、「秩父道」などの他いくつかの道筋があるようですが、詳しい話は歴史書に譲るとして、ここでは「上道」を中心に話を進めていきたいと思います。

この「鎌倉街道上道」は、2570地区では所沢市を起点に狭山、日高、毛呂山を通り、小川町、寄居、美里を経て神川町に至り、群馬県へと抜けていきます。

現代の地図に当てはめてみると、関越自動車道と寄り添うようにして、まさに2570地区の中心を突き抜けています。残念ながら、往時の鎌倉街道そのものの形が残っているところはあまり多くはありませんが、街道としての面影は小川町や毛呂山町などの山間(やまあい)に見ることができます。800年という年月を経た現代に、その面影だけでも残っているということは奇跡に近いものがあり、ほとんど「幻の道」になっています。

一方、歴史に名を残したその時代の武将や上人、そのゆかりの神社仏閣は数多く残っているようです。次号からはそれらをご紹介がてら、各RCとの関わりについても述べていこうと思います。

鎌倉街道について、ご興味のある方、情報をお持ちの方は是非「月信」編集部までご連絡下さいますようお願い致します。

上道＝かみみち・かみのみち・かみつみち

←「鎌倉街道」案内碑（日高市高萩付近）
↓ 嵐山町掘割状遺構（嵐山町笛吹峠付近）
写真：新藤　邦泰（志木RC）

ガバナー月信　第1号
2010年7月1日発行
今月の表紙：2010－11年度ガバナー
西川 武重郎

国際ロータリー第2570地区　2010－2011年度ガバナー　西川　武重郎
ガバナー事務所
〒367-0041　埼玉県志木市本町5丁目20番12号 サンシャイン志木1F
TEL (048)485－3883　E-mail＝info2010@mail.rid2570.gr.jp
FAX (048)485－3855　Website＝http://www.rid2570.gr.jp/2010/